

ミニ企画展

油彩画・大久保喜一展

～ごあいさつ～

私たちの郷土・熊谷は、多くの画家を輩出したまちですが、その中でも油彩画の分野において大きな功績を残した一人に大久保喜一が挙げられます。

大久保喜一（明治18年～昭和23年）は、児玉郡金屋村（現在の本庄市）の中林喜三郎の五男として生まれ、1898年に埼玉県会議員だった大久保巳之作の養子になりました。東京美術学校（現在の東京藝術大学）の西洋画科へ入学後は、ひたすらデッサンを学び、油彩画については黒田清輝等の指導を受けました。作風は、師である黒田清輝譲りの外光表現を得意とし、「ガラスの大久保」と称されました。大正5年の第10回文展に初入選し、以降も「文展」「帝展」にしばしば入選しています。大正8年には、県北の洋画の愛好者らと共に県下初の洋画団体である「坂東洋画会」を結成し、多くの作品を制作する傍ら、里見明正や須田剋太、上岡良など後進の育成に尽力しました。

今回の展示では、当館所蔵の熊谷市指定文化財3点のほか、デッサン画等を含めた計9点を展示いたします。丁寧に描かれたデッサン画や、作品ごとに異なる光の表現がされた油彩画をご鑑賞いただければ幸いです。



小春日和り 1928年 市指定文化財



夕餉の仕度 1913年

会期：令和4年9月6日（火）
～令和4年12月4日（日）

[休館日：毎週月曜日（祝日は除く）、9/2、9/20、10/7、10/11、11/4、11/24、12/2]

会場：熊谷市立熊谷図書館 3階 郷土資料展示室

時間：午前9時～午後5時

主催：熊谷市立熊谷図書館 住所：熊谷市桜木町二丁目33番地2 電話：048-525-9463